

北海道胆振地方中東部を震源とする地震に伴う岩手県応援本部の対応状況

平成30年9月6日(木) 8時00分現在
岩手県総務部総合防災室 防災危機管理担当
電話 019(629)5166

9月6日(木) 3時8分頃に北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度6強の地震が発生したことに伴い、4時00分に岩手県応援本部を設置しました。

9月6日(木) 8時00分現在の対応状況については、次のとおりです。

1 地震の状況

- (1) 震源地：北海道胆振地方中東部
- (2) マグニチュード：6.7 (暫定値)
- (3) 震源の深さ：約37km (暫定値)
- (4) 津波の心配はなし。

2 政府、北海道等の対応

- (1) 政府：6日3時9分に首相官邸対策室設置 (室長 内閣危機管理監)
- (2) 北海道：6日3時9分に災害対策本部設置

3 北海道地域の被害状況 (7時00分現在)

- (1) 人的・物的被害：心肺停止1名、土砂崩れによる家屋倒壊11件、室蘭市の石油コンビナート施設で火災1件発生
- (2) インフラ
 - ア 停電：道内295万戸が停電
 - イ 鉄道：JR北海道、札幌市営地下鉄は停電のため全線で運行停止
 - ウ 新千歳空港：6日はターミナルビルを終日閉鎖、全便欠航決定
- (3) 避難所
18箇所開設

4 本県への影響

- (1) 人的被害：確認中
- (2) インフラ：花巻空港8時55分発新千歳空港行の便は発着見込み立たず。

5 本県の対応

- (1) この地震に係る岩手県応援本部を4時に設置し、DMAT(災害派遣医療チーム)の派遣等、プッシュ型の支援を検討中
- (2) 消防庁から緊急消防援助隊の出動要請があり、本県防災航空隊の隊員7名が防災ヘリで6時10分に出発し、県内5消防本部から17隊62人と車両17台が準備を行い、宮古港8時00分発の室蘭行のフェリーに15隊54人と車両15台が出港

6 広域応援

- (1) 「大規模災害時等の北海道・東北8道県相互応援に関する協定」に基づく北海道への応援調整道県は青森県
- (2) 北海道・東北ブロックのカバー圏は関東圏
- (3) 全国知事会の動き：災害対策都道府県連絡本部を5時30分設置し、情報収集中
- (4) 対口支援 災害対策本部の運営支援、避難所運営及び罹災証明書の発行等のため、10~30人の派遣を検討中
- (5) 情報連絡員(リエゾン)3名を青森県庁に派遣し、情報収集を行う予定